

令和2年度 公益財団法人山形市文化振興事業団事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が世界的に広まり、事業実施にあたって昨年度末以上に感染対策を講じることが必須とされるようになった。そのため、両館では事業内容の変更を行いつつも効率的な運営になるよう努めた。

山寺芭蕉記念館では、収蔵品を活用した2つの展示企画展「収蔵名品展 - 書画の美 -」、企画展「館長おすすめセレクション - 絵画の美 -」を開催して収蔵品の魅力の発信を改めて行った。また企画展「山寺と紅花 8 - お雛さまと節句の飾り -」を開催して、日本遺産「山寺が支えた紅花文化」に因んだ展示を行い、構成文化財の県指定文化財 紅花屏風の公開を行いつつ山寺と紅花の関わりを象徴する資料も含めて紹介した。全国俳句山寺大会と芭蕉忌俳句大会は、参加者が集まっての大会を開くことはできなかったが、事前投句を応募いただき作品集にまとめる紙上大会を成果とすることができた。また、既存の山寺芭蕉記念館ボランティアガイドのスキルアップ講座としてのボランティアガイド養成講座は、オンラインを活用した講座として実施した。

最上義光歴史館では、展示事業の企画展示Ⅰ「鐵[kurogane]の美 2020 ～郷土の刀工・江戸三作ゆかりの刀匠たち～」を企画して、テレビやゲームで話題の「刀剣乱舞」に登場する本県ゆかりの水心子正秀と庄司直胤の作刀を紹介し、企画展示Ⅲ「発掘速報！山形城瓦ヒストリー」では、県と市が行っている山形城発掘事業の成果である瓦など100点以上の出土資料を展示公開する機会とした。

また、普及啓発事業は、山形市内の小学校に出向く「こども講座『ヨシアキ☆すく～る!?』」を、感染対策を徹底して行い、校外学習ができない状況から、学校側に歓迎されての実施となった。

このような状況下において、山寺芭蕉記念館の入館者は前年対比 63.6%の減少となり、研修室の有料利用者は前年対比 63%の減少であった。

最上義光歴史館の入館者数は前年対比 48.5%の減少であった。

山寺芭蕉記念館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

①企画展「山寺と紅花 VII —お雛さまの雅—」

江戸時代、西廻り航路の発達などにより海路を用いた交易が盛んになった。山形においては、日本海海運と最上川舟運を活用した紅花交易によって繁栄した豪商により、京・大坂を中心とした華やかな文化が山形にもたらされた。その一つとして雛人形がもたらされ、今日まで雛祭りの風習が残り、根づいている。

本展では、それら山形に伝わる旧家の雛人形などを公開し、“お雛さまの雅”をご鑑賞いただく機会とした。

○開催期間 4月1日(水)から4月6日(月) (延べ日数6日)

○入館者数 47名 : 1日平均約8名

(前年度は企画展「山寺と紅花 IV」、前年同期8日間で199名)

○総入館者数 (2/21~4/6) 730名 : 1日平均約16名

(延べ日数46日間) (前年度40日間1,606名)

令和2年4月8日(水)から5月14日(木)まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館。

以下の企画展等については、期間の延長や開催中止、収蔵品を中心とする展示内容への変更を行った。

企画展「収蔵名品展 - 書画の美 - 」8月31日まで開催期間を延長。

企画展「妖怪と不思議の世界」開催中止。

特別展「山寺と紅花8」開催中止。

企画展「収蔵名品展 - 絵画の美 - 」開催中止。

開催中止とした企画展等に替えて企画展「館長おすすめセレクション - 絵画の美 - 」を開催、企画展「山寺と紅花 9 - お雛さまと節句の飾り - 」を企画展「山寺と紅花 8 - お雛さまと節句の飾り - 」とタイトルを変更して開催した。

②企画展「収蔵名品展 - 書画の美 - 」

長谷川コレクション、潁原退蔵・尾形仿コレクション、他収蔵品の中から書画の名品を選びすぐって展示し、文学的、美術的価値の高い作品を鑑賞する機会とした。

○開催期間 5月15日(金)から8月31日(月) (延べ日数108日)

○入館者数 1,257名 : 1日平均約12名

(前年度は企画展「近代俳句の世界」、特別展「おくのほそ道 330年記念 芭蕉展」、企画展「妖怪展」138日間で9,999名)

③企画展「館長おすすめセレクション - 絵画の美 -」

山寺芭蕉記念館収蔵品より絵画の名品を選び公開した。㊦長谷川コレクション、
頼原退蔵・尾形仇コレクションなどから、絵画作品を選びすぐって展示し、日本
美術の魅力を紹介し、鑑賞する機会とした。

○開催期間 9月4日(金)から2月15日(月)(延べ日数144日)

○入館者数 4,428名:1日平均31名

(前年度は企画展「山寺と紅花 V」、企画展「山寺と紅花 VI」144日間で6,496名)

④企画展「山寺と紅花 8 - お雛さまと節句の飾り -」

雛人形や武者人形など節句の飾りを展示して、その歴史を紹介した。それと共
に、雛人形の裂地に用いられた紅花染めにも注目した展示を行い、紅花文化につ
いても焦点をあてた。

○開催期間 2月19日(金)から3月31日(水)(延べ日数37日)

○入館者数 595名:1日平均16名

(前年度は企画展「山寺と紅花 VII」、全同期40日間で683名)

○総入館者数(2/19~4/12)706名:1日平均約14名

(延べ日数49日間)(前年度46日間で730名)

(2) 普及啓発事業

①第63回全国俳句山寺大会 n

俳句の普及と振興をはかるため、山寺文化保存会と共催し、名勝山寺の地で
芭蕉が訪れた時期である7/12に俳句大会を予定していたが、新型コロナウイルス
感染症の感染拡大の防止のため、俳句を募集し、表彰する紙上大会とした。

○選者 すすき 巴里氏(「ろんど」主宰)

大谷 弘至氏(「古志」主宰)

永瀬 十悟氏(「桔槔」「群青」同人)

阿部 月山子氏(「春耕」同人) 鈴木 正子氏(「初蝶」同人)

黒坂 重政氏(「里」同人) 伊藤 寛氏(「古志」同人)

○事前投句 1,310句(前年度1,232句)

②第12回山寺芭蕉記念館英語俳句大会

英語俳句を通して俳句の更なる交流促進、俳句文化の国際交流をはかるとと
もに、英語教育や文化、観光振興に寄与することを目的とした。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により応募期間を延長した。(締
切日を6/1から8/21に)

○審査委員 飯島 武久氏(国際日本文化研究会会長・山形大学名誉教授)

大場 登氏(第12回山寺芭蕉記念館英語俳句大会実行委員会委員長)

万里小路 譲氏(詩人・評論家)

リサ ソマーズ氏(翻訳家・山形大学非常勤講師)

相馬 周一郎（公益財団法人山形市文化振興事業団理事長）

○投句数 1,504 句(前年度 1,277 句)

○参加者数 1,148 名(前年度 830 名)

③第 51 回芭蕉忌俳句大会

俳句の普及をはかるため、山形県俳人協会と共催し、山寺の地で芭蕉を偲ぶ句会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため会場大会を中止とし、事前投句による紙上大会により開催した。

○選者 阿部 月山子氏（「春耕」同人）鈴木 正子氏（「初蝶」同人）
黒坂 重政氏（「里」同人）伊藤 寛氏（「古志」同人）

○事前投句 640 句(前年度 630 句)

④山寺芭蕉記念館ボランティアガイド養成講座

山寺芭蕉記念館のボランティアガイドになるためのボランティアの養成、及び現在活動中のボランティアガイドのスキルアップのための講座を開催した。第3回・4回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインによる講座とした。設備等のある方は各自の自宅等で(9名)、設備等のない方(9名)は山寺芭蕉記念館にて受講。

○日時等 第1回 11月7日(土)

- ・曾良日記に見る「奥の細道」の旅(1)
- ・「今さら聞けない江戸時代・俳諧・芭蕉にまつわる雑学」(1)
- ・収蔵品解説(1)

講師 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
当館学芸員 相原一士

参加者 21名

第2回 11月8日(日)

- ・曾良日記に見る「奥の細道」の旅(2)
- ・「今さら聞けない江戸時代・俳諧・芭蕉にまつわる雑学」(2)
- ・画賛の世界
- ・収蔵品解説(2)

講師 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
山形大学学術研究院准教授 佐藤 琴氏
当館学芸員 相原一士

参加者 21名

第3回 1月23日(土)

- ・曾良日記に見る「奥の細道」の旅(3)
- ・「今さら聞けない江戸時代・俳諧・芭蕉にまつわる雑学」(3)
- ・文人画の世界(1)
- ・収蔵品解説(3)

講師 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
山形大学学術研究院准教授 佐藤 琴氏
当館学芸員 相原一士

参加者 18名

第4回 1月24日(日)

- ・曾良日記に見る「奥の細道」の旅(4)
- ・「今さら聞けない江戸時代・俳諧・芭蕉にまつわる雑学」(4)
- ・文人画の世界(2)
- ・収蔵品解説(4)

講師 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
山形大学学術研究院准教授 佐藤 琴氏
当館学芸員 相原一士

参加者 18名

⑤第29回山寺芭蕉記念館文化セミナー

広い視野で日本文化と歴史を見つめる講座を開設し、市民文化の向上をはかると共に新たな視点を提示する。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。

⑥芭蕉を偲んで投句しよう(一般の部・小中学生の部)

俳句の普及をはかるため、山寺芭蕉記念館内に投句箱を設置し、投句選を行う予定であったが、一般の部 11句、小中学生の部 0句であったため令和3年度分と併せて投句選を行うこととした。

- 前年度投句数
- ・一般の部 61句
 - ・小中学生の部 112句

⑦ITに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信した。

○アクセス件数

<4月から3月までの延365日間のアクセス件数>

	令和元年度	令和2年度	前年度比
回数	279,706件 (1日/764件)	256,206件 (1日/702件)	8.4%減
人数	68,979件 (1日/188件)	59,752件 (1日/164件)	13.4%減

事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の公開を行い、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

(3) 茶席事業

①市民茶会（通年）

抹茶または煎茶の呈茶を行い、茶道作法など、茶道文化の啓蒙普及をはかるための事業であったが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

②茶房 芭蕉堂（通年、但し市民茶会開催日を除く）

抹茶の呈茶を常時行い、茶道文化に親しむ一助とした。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため4月、5月は休止し、6月からロビー談話室での開催とした。

○実施状況

実施月	日 数	利用者数（人）
4月	0	0
5月	0	0
6月	21	11
7月	31	35
8月	31	46
9月	27	68
10月	31	59
11月	30	55
12月	21	16
1月	22	6
2月	22	18
3月	28	31
合 計	264	345 (83.9%減)
前年度	253	2,155

() 内は前年度同期比 (%)

③山寺感謝の茶会

山寺地区民に対し、平素から山寺芭蕉記念館の事業に理解と協力を頂いていることへの感謝の意を表して呈茶を行い、茶の湯に親しむ機会とした。

○開催日 11月23日（月・祝）

○参加者数 47名（前年度参加者数65名）

(4) 収蔵品の貸し出し

①北海道立近代美術館、イルフ童画館、北九州市漫画ミュージアム、三鷹市美術ギャラリー、足利市立美術館

- 貸出資料 1 『西行物語』
- 2 『山海経』

○期 間 令和2年10月26日～令和4年1月31日

○内 容 北海道立近代美術館、イルフ童画館、北九州市漫画ミュージアム、三鷹市美術ギャラリー、足利市立美術館で開催の巡回展「デビュー50周年記念 諸星大二郎 異界への扉」に出品のため。

(5) 収蔵品の掲載許可

①齋藤秀夫

○掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆

○期 日 等 令和2年4月下旬掲載。

○内 容 米沢日報デジタル「芭蕉と曾良と出羽国」に掲載。

②山形商工会議所

○掲載資料 「謡初十句懐紙」 正岡子規 筆

○期 日 等 令和3年3月1日発行。

○内 容 「商工月報」に掲載。

③(株)TBS テレビ

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和2年5月10日放送。

○内 容 「じよんのび日本遺産」で放送。

④(株)アルバ

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和2年5月13日発行

○内 容 「日本遺産」販促サイトに掲載。

⑤(株)集英社

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和3年6月～7月発行

○内 容 「集英社学習まんが日本の歴史(ポータブル版)10巻」に掲載。

⑥紅ミュージアム

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和3年3月発行

○内 容 常設展示図録に掲載。

⑦(株)さくらんぼテレビ

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和3年1月9日放送

○内 容 「昼ドキやまがたチョイス」で放送。

⑧日本放送協会(NHK)

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和3年1月31日放送

○内 容 総合テレビ「民謡魂 ふるさとの唄～北海道函館市～」で放送。

⑨(株)山形新聞社

○掲載資料 「天華岩」 高橋源吉 筆

○期 日 等 令和3年1月31日発行

○内 容 「やまがた再発見」に掲載。

⑩教育出版(株)

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆

○期 日 等 令和3年4月1日発行

○内 容 「中学社会歴史未来をひらく」検定教科書等に掲載。

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和2年度 山寺芭蕉記念館運営懇談会

日 時 令和2年11月19日(木) 午後2時

場 所 山寺芭蕉記念館 会議室

内 容 ①報告 ・令和元年度事業報告
・令和2年度事業経過報告
②懇談 ・令和3年度事業及び運営について
・その他

(2)令和2年度 山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会

開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための臨時休館

令和2年4月8日(水)から5月14日(木)まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響等により臨時休館した。

(2) 山寺芭蕉記念館ボランティアガイド

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため活動を休止した。

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・時間延長について

期 日	区 分	説 明
4月6日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月7日(火)	臨時休館	展示替えのため
4月8日(水) ～ 5月14日(木)	臨時休館	山形県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑み、感染予防と感染拡大防止のため、山形市の指示に従い臨時休館とする
5月18日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
5月25日(月)		
6月1日(月)		
6月3日(水)	臨時休館	消防設備点検のため
6月8日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月15日(月)		
6月22日(月)		
6月29日(月)		
7月6日(月)		
7月13日(月)		
7月20日(月)		
7月27日(月)		
8月3日(月)		
8月11日(火)		
8月17日(月)		
8月24日(月)		
8月31日(月)		
9月1日(火)	臨時休館	展示替えのため
9月2日(水)		
9月3日(木)		
9月7日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
9月14日(月)		
9月23日(水)		
9月28日(月)		

10月5日(月)		
10月12日(月)		
10月19日(月)		
10月26日(月)		
11月2日(月)		
11月9日(月)		
11月16日(月)		
11月24日(火)		
11月30日(月)		
12月1日(火)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月2日(水)	臨時休館	消防設備点検
12月3日(木)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月4日(金)		
12月7日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月9日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月14日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月16日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月21日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月23日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月28日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月5日(火)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月6日(水)		
1月12日(火)	臨時休館	来館者サービスのため
1月13日(水)	臨時開館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月18日(月)	臨時休館	来館者サービスのため
1月20日(水)	臨時開館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月25日(月)	臨時休館	来館者サービスのため
1月27日(水)	臨時開館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月1日(月)	臨時休館	来館者サービスのため
2月3日(水)	臨時開館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月8日(月)	臨時休館	来館者サービスのため
2月10日(水)	臨時開館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月15日(月)	臨時休館	来館者サービスのため
2月16日(火)	臨時休館	展示替えのため
2月17日(水)		
2月18日(木)		
2月24日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月1日(月)	臨時開館	来館者サービスのため

3月4日(木)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月8日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月10日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月15日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月17日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
3月22日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月29日(月)		

(2) 無料開放について

○市制施行記念無料開放：実施せず（前年度 156 名）

○文化の日無料開放：11月3日(火・祝) 485名

（大人 458名、高校生 1名、小中学生 26名）（前年度 774名）

最上義光歴史館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

① 常設展/企画展示Ⅰ「鐵[kurogane]の美 2020 ～郷土の刀工・江戸三作ゆかりの刀匠たち～」

「江戸三作」と称された新々刀の名工のうち本県ゆかりの水心子正秀と庄司直胤、山浦清麿の弟子斎藤清人、正秀の弟子池田一秀、そして現代の名工上林恒平氏の作品を展示公開した。展示総数 10 振

○期 間 5月20日(水)から8月16日(日) (延日数は77日間)

○入館者数 3,187名 (1日平均約41名)

② 常設展/企画展示Ⅱ「収蔵名品展 屏風絵」

当館が所蔵する収蔵資料の中から最上家や郷土山形にゆかりの屏風の名品3点を展示公開し、文化財に対する理解と愛郷心を育む一助とした。

- ・ 四季花鳥図屏風 六曲一双 伝狩野玄也筆(県指定有形文化財)
- ・ すすき図屏風 六曲一双 山形市・清源寺寄託(市指定有形文化財)
- ・ 葡萄棚図屏風 六曲一隻 山形市・光禅寺寄託(市指定有形文化財)

○期 間 8月19日(水)から11月23日(月) (延日数は84日間)

○入館者数 6,427名 (1日平均約77名)

③ 常設展/企画展示Ⅲ「発掘速報！山形城瓦ヒストリー」

山形県と山形市教育委員会が行っている山形城関連の発掘事業によって出土した瓦を中心に展示公開し、山形城の歴史と変遷や近年の発掘状況の一端を紹介した。展示総数 103 点

○期 間 11月27日(金)から4月4日(日) (延日数は105日間)

○入館者数 3,231名 (1日平均約31名)

(2) 普及啓発事業

① 歴史講座

こども講座「ヨシアキ☆すく～る!？」

山形市内の小学校に出向き、郷土の歴史に触れる機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心を育てる一助とする。

令和元年度実施校 14校 : 参加生徒数 823名 : 講師 延 45名

令和2年度実施校 12校 : 参加生徒数 721名 : 講師 延 35名

○日時、実施校、学年、参加生徒数、講師数の順で記載

・ 6月30日(火) 9時40分から10時30分まで

山形市立第四小学校 四年生 42名

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 2名

- ・ 7月22日(水) 14時15分から15時30分まで
 山形市立第一小学校 四年生 36名
 同「義光会」 4名
- ・ 7月30日(木)
 山形市立滝山小学校 四年生 114名
 10時55分から12時30分まで 57名
 14時から15時30分まで 57名
 同「義光会」 5名
 10時55分から12時30分まで 2名
 14時から15時30分まで 3名
- ・ 9月9日(水) 9時40分から10時25分まで
 山形市立明治小学校 四年生 15名
 同「義光会」 3名
- ・ 9月24日(木) 10時55分から11時40分まで
 山形市立第六小学校 四年生 68名
 同「義光会」 3名
- ・ 10月2日(金) 14時から15時まで
 山形市立第七小学校 四年生 71名
 同「義光会」 3名
- ・ 10月7日(水) 10時40分から11時40分まで
 山形市立南小学校 四年生 85名
 同「義光会」 2名
- ・ 10月8日(木) 10時35分から11時20分まで
 山形市立鈴川小学校 四年生 106名
 同「義光会」 2名
- ・ 10月27日(火) 10時55分から11時40分まで
 山形市立大郷小学校 四年生 34名
 同「義光会」 2名
- ・ 11月12日(木) 10時45分から11時45分まで
 山形市立第二小学校 四年生 64名
 同「義光会」 2名
- ・ 12月1日(火) 13時45分から14時30分まで
 山形市立南山形小学校 四年生 43名
 同「義光会」 3名
- ・ 12月17日(木) 14時から15時まで
 山形市立宮浦小学校 四年生 43名
 同「義光会」 4名

②ボランティアに係わる事業

「義光塾」

最上義光や郷土の歴史について多角的に学習して、来館者に対して幅広い知識で接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い密を避けるため、会場は最上義光歴史館第一展示室で実施した。

(回数 3 回：参加者総数 69 名)

○日時、内容、受講者数、講師の順で記載

- ・ 8 月 11 日(火) 10 時から 12 時
「日本刀講座 ～郷土の刀工・水心子正秀を中心に～」 23 名
布施幸一先生(風俗研究家、日本美術刀剣保存協会山形支部事務局長)
- ・ 12 月 7 日(火) 10 時から 12 時
「連歌の何がおもしろい？」 22 名
生田慶穂先生(山形大学人文社会科学部准教授)
- ・ 2 月 22 日(月) 10 時から 15 時 30 分
「山形城下絵図『涌谷互理家本』と近世初頭の縄張り」 24 名
齋藤 仁先生(山形市教育委員会社会教育青少年課文化財保護係)

「現地研修会」

最上家や郷土の歴史に関する史跡等を現地研修し、現地に赴くことによってボランティアが郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、来館者に対してより質の高い接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

○日 時 10 月 12 日(月)

○内 容 最上地方(野辺沢城、万騎の原古戦場跡、小国城等)を目的地として現地研修し、現地に赴くことによって、郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、幅広い知識と質の高い接遇を学び、来館者の満足度が上がるようにスキルアップを図る。

○研修先

- | | |
|----------------|---------------------|
| ①野辺沢城(尾花沢市) | 野辺沢氏の居城 |
| ②龍護寺(尾花沢市) | 野辺沢満延・光昌親子の墓碑 |
| ③円照寺(尾花沢市) | 野辺沢満重と松尾姫の墓碑 |
| ④万騎野原古戦場跡(最上町) | 最上軍と小国細川軍が戦った戦場 |
| ⑤小国城(最上町) | 小国氏の居城 |
| ⑥鳥越楯跡(新庄市) | 鳥越氏(小田島氏)の居城※鳥越八幡神社 |

○参加者 32 名

(3) 調査研究事業

①最上家関係資料・史跡調査 【継続事業】

県内外に残る最上家等に関わる文書資料や文化財・史跡などの調査研究を進め、

写真撮影等による記録保存及び目録作成、複写等の資料整備を行う。
 ○某旧家より寄託された刀装具の調査を行い、展覧会等への活用の準備を行う。

(4) その他の事業

① ITに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信するとともに、企画から物販まで幅広く展開した。

・一般ページのアクセス件数

<4月から3月までの延365日間のアクセス件数>

	令和元年度	令和2年度	前年度比
回数	627,092回 (1,713回/日)	667,627回(1,829回/日)	6.5%増
人数	102,039人 (279人/日)	122,054人(334人/日)	19.6%増

・こどもページのアクセス件数

<4月から3月までの延365日間のアクセス件数>

	令和元年度	令和2年度	前年度比
回数	15,927回 (44回/日)	17,078回 (47回/日)	7.2%増
人数	6,158人 (17人/日)	7,088人 (19人/日)	15.1%増

・スマートフォンサイトのアクセス件数

<4月から3月までの延365日間のアクセス件数>

	令和元年度	令和2年度	前年度比
回数	44,504回 (122回/日)	85,904回 (235回/日)	93.0%増
人数	14,843人 (41人/日)	26,767人 (73人/日)	80.3%増

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和2年度 最上義光歴史館運営懇談会

日時 令和3年1月15日(金) 午後2時

会場 最上義光歴史館 会議室

内容 ①報告 ・令和元年度事業報告
 ・令和2年度事業経過報告
 ②懇談 ・令和3年度事業及び運営について
 ・最上義光歴史館の運営と経営について
 ・その他

(2)令和2年度 最上義光歴史館資料整備検討委員会

開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 最上義光武将隊の活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため活動なし

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・開館時間延長

②最上義光歴史館

期 日	区 分	説 明
4月8日(水) ～ 5月14日(木)	臨時休館	山形県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑み、感染予防と感染拡大防止のため、山形市の指示に従い臨時休館とする。
5月19日(火)	臨時休館	展示替え作業のため
8月18日(火)		
11月25日(水)		
11月26日(木)		
1月18日(月)	臨時開館	最上義光の命日にあわせたサービス拡大のため
2月16日(火)	臨時休館	展示替え作業のため

公益財団法人山形市文化振興事業団

1. 理事会・評議員会について

(1) 第1回理事会(書面による決議の省略)

日 時 令和2年5月28日(木)(決議があったものとみなされた日)

議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和元年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)

第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員会の開催方法
変更について (原案どおり承認可決)

(2) 定時評議員会(書面による決議の省略)

日 時 令和2年6月12日(金)(決議があったものとみなされた日)

議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和元年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)

第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員の選任について
(原案どおり承認可決)

第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団役員を選任について
(原案どおり承認可決)

(3) 第2回理事会

日 時 令和3年3月25日(木) 午前11時

場 所 山形グランドホテル アルプス

議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和2年度正味財産増減
補正予算について (原案どおり承認可決)

第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和3年度事業計画及
び正味財産増減予算について
(原案どおり承認可決)

第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和3年度評議員会の
開催について (開催の日時、場所、目的を決定)

第4号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団事務局次長任命の承認
について (原案どおり承認可決)

2. 監査に関する事項について

(1) 令和元年度事前監査 令和2年5月14日(木)
午前9時30分(山寺芭蕉記念館 会議室)

(2) 令和元年度監査 令和2年5月21日(木)
午後3時(最上義光歴史館 会議室)